

八 幡 の 風

よい歯のコンクールで市長賞！！



6月5日（日）、津市リージョンプラザにおいて、「よい歯のコンクール表彰式」がありました。

これは、歯科医師会による歯と口の健康週間事業の一環として行われるもので、「よい歯の児童生徒のコンクール」として小学校6年生と中学校3年生が対象となっています。

各学校から学校代表が選出されており、東観中学校から学校代表として選出され

た3年B組の清水心愛さんが、見事、市長賞に輝きました。

清水さんは小学校6年生の時に続く、連続の受賞だそうです。市長からも、「ずっときれいな歯をキープしてるんだね」との言葉をかけていただいていたいました。

歯は一生のパートナーであり財産です。

我々も、少しでも健康な歯でいられるよう、日ごろからしっかり手入れをしましょう。



コロナとマスクと熱中症

新型コロナウイルス感染症対策として定着しているマスクの着用ですが、熱中症を避けるためには、状況に応じてマスクをはずすことも必要です。

濃厚接触を避けるために、マスクを着用したほうがよいのか、着用の必要はないのか。ポイントになるのは、次の3つです。

- ① 屋内か屋外か
- ② 身体的距離があるかないか(2m以上が目安)
- ③ 会話をするかしないか(15分以上が目安)

このうち2つ以上、感染リスクが高い項目が当てはまる場合は、マスクの着用が望ましいとされています。

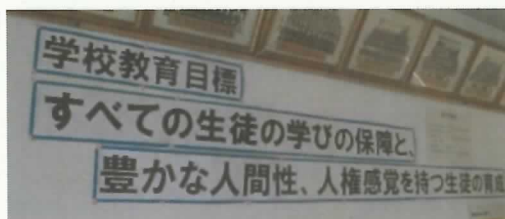
表にまとめてみましたので、参考にしてみてください。

【参考】(文部科学省「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」より)

	身体的距離 (2m 以上を目安) が確保できる		身体的距離が確保できない	
	屋内	屋外	屋内	屋外
会話(15 分以上が目安)を行う	着用するほうがよい	着用の必要はない	着用するほうがよい	着用するほうがよい
会話をほとんど行わない	着用の必要はない	着用の必要はない	着用するほうがよい	着用の必要はない

学校教育目標について考える

東観中学校の職員玄関には「学校教育目標」が掲示してあります。他にも職員室前の廊下、新館の3年生昇降口にも同じ掲示があります。少し調べてみましたが、ここ数年、東観中学校の学校教育目標は変わっていません。4月に東観中学校に赴任して以来、ずっとこの学校教育目標の意味を考え続けています。



「すべての生徒の学びの保障と、豊かな人間性、人権感覚を持つ生徒の育成」

さらりときれいな言葉で書いてあるものほど、その意味を読み解くのは難しいものです。例えば、「学びの保障」とありますが、これはどういう意味でしょうか。試しに東観中学校の職員に尋ねたところ、その回答は人によって様々でした。日々の授業を振り返る者、学習指導要領について語る者、不登校生の心配をする者、その他、進路や家庭環境、経済的支援についてなど……。さらに、では「学びの保障」はできていますか？と尋ねると、皆一様に、しばらく考えた後、「できていません」と答えます。つまり、どうやら「学びの保障」とは、決して単純なものではなく、その実現は容易ではないようです。しかもそれが「すべての生徒の」となると、目標の達成はまだ遠い先にあり、我々には、まだまだやらなければならないことがたくさんあることに気づかされます。

学校教育目標とは、その学校がどんな教育活動をしようとしているか、独自に表現したものです。ですから、東観中学校の職員はこの目標の達成のために最善を尽くさねばなりません。もちろん、四六時中この学校教育目標を意識し続けるというわけにはいきませんが、でも時々この学校教育目標を読み返し、自分たちがやっている教育活動が、この目標に向かって進んでいるかを確認する必要があるのだと思います。校内のよく目立つ場所、常に目にする場所に掲示されている意味は、きっとそんなところにあるのでしょう。(文責:白井)